

バヌアツ（2023 年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在バヌアツ日本国大使館](#)

1. 2021 年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

1.2021 年度日本語教育機関調査結果

なし

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

バヌアツでは、1988 年から 1995 年まで JICA 海外協力隊（JOCV）隊員（日本語教育）が南太平洋大学（USP）バヌアツ・センターに派遣され、一般教養及び生涯教育コースにおいて、学生・一般人に対して日本語教育を実施した。3 代の JOCV 隊員（日本語教育）が 7 年にわたって協力活動を行った。その後も、2003 年 11 月から 2006 年 9 月まではシニア海外ボランティア（日本語教育）が日本語教育支援を行っていたが、バヌアツ教育省による「指導言語改定」が行われた際に JICA からの日本語教師派遣が見合わせられ、2016 年に日本語教育が中断した。

2000 年 5 月からは、リセ中高等学校（フランス語系の中等教育機関の最高峰）に JOCV 隊員（日本語教育）の派遣が開始され、同校において日本語の授業が開始されたが、2008 年をもって休校となった。ほかにも 2004 年からモンマート高校において、2005 年からルーガンビル高校において、日本語教育隊員が派遣され、一時は広がりを見せたが、モンマート高校及びルーガンビル高校の閉校に伴い、同校における日本語教育も終了した。

2014 年からは、首都ポートビラに位置するセントラル・スクールで日本語教育が開始されたが、現在は終了している。

背景

1980 年の独立まで英仏共同統治下にあったことから、英語教育を受けた者とフランス語教育を受けた者が混

在しており、言語的多様性を受け入れることのできる背景がある。JOCV 隊員（日本語教育）の過去数年に渡る活動もあり、日本人に対する親近感や、日本語や日本文化に対する潜在的興味・関心はあるものと推定される。

特徴

2000 年以降、中等教育機関への JOCV 隊員（日本語教育）の派遣開始とともに、日本語の授業が 3 校で開始されたが、いずれも終了している。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

2000 年 5 月以来、JOCV 隊員（日本語教育）がリセ中高等学校、モンマート高校、及びルーガンビル高校に派遣され、同校における日本語教育が開始されたが、いずれの高校も閉校になった。

2014 年から、元 JOCV が首都ポートビラのセントラル・スクール（幼稚園、小学校、中学校、高校を含む生徒数計 1,000 名（うち小学校 420 名、中学校・高校 560 名）の国立校）において日本語を教えていたが、現在は実施されていない。

高等教育

2003 年 11 月、南太平洋大学（USP）バヌアツ分校にシニア海外ボランティアが派遣され、2004 年 2 月から日本語教育が開始されたが、任期満了に伴い終了した。

学校教育以外

日本語教育の実施は確認されていない。

3. 教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

6-4-2（3・4）制。

就学前教育施設（プレ・スクール）に 2 年間通った後、初等教育（プライマリー・スクール）に 6 年間通う。初等教育は義務教育ではないが、無償である。小学校卒業後は中学校（ジュニア・セカンダリー・スクール、4 年間）や地方訓練センターで簡易な職業訓練を受ける者もいる。中学校最終学年で受ける 10 年生試験の成績上位者は、高校（シニア・セカンダリー・スクール、2 年間）に進学する。大学進学希望者は英語系高校では更に 1 年、フランス語系では更に 2 年間高校に留まり、高等教育機関である南太平洋大学（USP）バヌアツ分校や、2020 年に開校したバヌアツ国際大学（NUV）、ニューカレドニアなどの外国の大学に進学する。

教育行政

正規教育は教育訓練省の管轄である。同省の傘下に教員養成学校、国立技術専門学校があり、また、同省の傘下に看護学校が、農業・畜産・水産省の傘下に農業専門学校があり、海洋訓練学校はインフラ・公共事業省の管轄となっている。非正規教育・訓練はほかの政府機関あるいは非政府組織（NGO）が行っている。

言語事情

国語はビシュラマ語。公用語はビシュラマ語、英語、フランス語である。なお、バヌアツにはこのほか、110ほどの異なった土着言語（vernacular）が存在する。

外国語教育

1980 年の独立まで英仏共同統治下にあったという歴史的経緯が教育分野にも影響を与えており、英語を教授言語とするアングロフォン系の学校とフランス語を教授言語とするフランコフォン系の学校に分かれており、両教授言語ともに初等教育段階から使用されている。

外国語の中での日本語の人気

フランス語、英語等欧米の言語と比べて、日本語の人気は高いとは言えない。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

学校教育以外

日本語教育の実施は確認されていない。

5. 教師

資格要件

初等教育

特になし。

中等教育

特になし。

高等教育

特になし。

学校教育以外

特になし。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムはない。

教師研修

現職の日本語教師対象の研修はない。

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークはない。

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

（情報なし）

8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムはない。

9. 評価・試験

共通の評価基準や試験はない。

10. 日本語教育略史

1988 年	南太平洋大学（USP）バヌアツ・センターにて、学生・一般人に対して日本語教育実施（2017 年以降休講）
2000 年	リセ中高等学校（フランス語系の中等教育機関の最高峰）に JOCV 隊員（日本語教育）の派遣が始まり、日本語の授業開始（2008 年閉校）
2004 年	モンマート高校で日本語教育開始（2017 年閉校）
2005 年	ルーガンビル高校で日本語教育開始（2017 年閉校）
2014 年	首都ポートビラに位置するセントラル・スクールで日本語教育開始（その後、終了）

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。

なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

E メール： kunibetsu@jpf.go.jp

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）